

## 第九回薬物乱用対策研修会 日程表

日時:平成29年11月15日(水)～17日(金)

場所:国立病院機構下総精神医療センター会議室

日時等	講義題	講師名(敬称略) (下総は下総精神医療センター)
<b>【第1日目】</b> 8:50～9:10 9:10～9:20 9:20～9:30 9:30～10:30 10:30～11:00 11:00～11:10 11:10～12:00 12:00～13:30 13:30～14:20 14:20～14:30 14:30～16:40 16:40～16:50 16:50～17:40 17:40～18:10 18:45～	受付 オリエンテーション 開講挨拶 1. 行動原理 2. 条件反射制御法 － 休憩・アンケート記入 － 3. 看護師主導による治療環境の安定化 － 昼食・休憩・アンケート記入 － 病棟見学(1Group:30分) 4. 自助活動の歴史と存在意義 － 休憩・アンケート記入－ 5. 薬物需要削減のための∞型連携体系 － 休憩・アンケート記入－ 6. ∞型連携における義務衝突の整理と課題 第1日目の講義に関する質疑と応答 希望者による懇親会	事務局 下総 院長 女屋光基 薬物依存治療部長 平井慎二  薬物専門病棟看護師長 堀部泰治  日本ダルク代表、NPO 法人アパリ理事長 近藤恒夫 薬物依存治療部長 平井慎二  北海学園大学 法学部教授 飯野海彦
<b>【第2日目】</b> 9:00～10:00 10:00～10:10 10:10～11:10 11:10～11:50 11:50～13:20  13:20～14:00 14:00～14:20 14:20～14:30 14:30～15:30 15:30～16:30 16:30～16:40 16:40～17:40 17:40～18:10	7. 援助側職員による対応を取締職員が補う処遇 － 休憩・アンケート記入－ 8. 薬物乱用対策における回復支援施設の役割 9. 精神科医療施設と回復支援施設の連携 － 昼食・休憩・アンケート記入－ 病棟見学(1Group:30分) 10. 薬物乱用者に対する生活保護のあり方 11. 生活保護を受ける薬物乱用者に対する仮想処遇 － 休憩・アンケート記入－ 12. 現行法下で薬物事犯者を治療へ導入する試み 13. 薬物乱用者に対する更生保護のかかわり － 休憩・アンケート記入－ 14. 矯正施設から社会内施設への情報の提供 第2日目の講義に関する質疑と応答	薬物依存治療部長 平井慎二  千葉ダルク 代表 白川雄一郎 薬物専門病棟 看護師 加藤照代  薬物専門病棟副看護師長 今井義和 薬物依存治療部長 平井慎二  NPO 法人アパリ 事務局長 尾田真言 宇都宮保護観察所長 生駒貴弘  汐の宮温泉病院 医師 中元総一郎
<b>【第3日目】</b> 9:00～10:00 10:00～11:00 11:00～11:10 11:10～12:00 12:00～13:00 13:00～15:00 15:00～15:10 15:10～16:10 16:10～16:20 16:20～16:50 16:50～17:00	15. 薬物事犯の裁判における弁護活動 16. 医療観察法指定通院医療機関の関わる∞連携 － 休憩・アンケート記入－ 17. 治療を強制する司法と治療側機関の仮想対応 － 昼食・休憩 － 17. 続き(ロールプレイ) － 休憩・アンケート記入－ 18. 薬物事犯者に対する検察の業務 － 休憩・アンケート記入－ 第3日目の講義に関する質疑と応答 閉講式	高橋洋平法律事務所 所長 高橋洋平 ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 院長 長谷川直実 下総 薬物依存治療部長 平井慎二  前橋地方検察庁 検事正 森悦子

※当日の進行状況あるいは研究の進捗、社会の変遷等で、プログラム内容が変更されることがあります。